

地域再生いどばた会議 ～地域を救う「つながり」～

開催主旨

地域創生センターがこれまで行ってきた地域連携教育開発の取組み等をタウンフォーラムとして発信するため、また、地域再生・活性化事業を協働、推進してきた地域との連携成果を基に、さらなる展開とモデル化をめざし、地域課題解決、ノウハウ共有、イノベーション創発を促進する学習、対話、未来形成の場として、中山間地域や沿岸部の優位性とそこでの地域再生／活性化活動を可視化することを目的として、開催する。

日時：平成25年1月12日(土) 13時～17時15分

場所：徳島大学地域・国際交流プラザ(日亜会館)

主催：国立大学法人徳島大学、徳島地域連携協議会

共催：上勝町、那賀町

後援：徳島県、徳島県市長会、徳島県町村会、徳島新聞社、

四国放送(株)、NHK徳島放送局

開会挨拶：徳島大学副学長 佐野 正孝

第一部 女性がすすめる6次産業

～地域課題を解決するコミュニティビジネス～

話題提供：

- ①「柚の生産から加工・販売まで、地域を元気にするコミュニティビジネス」
(有) 柚冬庵 代表(那賀町) 榊野 瑞恵
- ②「漁業・農業連携による新たな担い手と仕事づくり」
和田島漁業協同組合女性部 部長(小松島市) 鳴滝 貴美子
- ③「いろいろコミュニティ、高齢者からIターン者へ知恵と技術の継承」
上勝彩食品グループ(上勝町) 新居 百栄・柿田 恵美

基調講演：

「女性が主役に! これからの六次産業」
高崎経済大学地域政策学部 観光政策学科 准教授 片岡 美喜

いどばた会議：

[コーディネーター] 徳島大学大学院 教授 豊田 哲也

[パネリスト]

榊野 瑞恵、鳴滝 貴美子、新居 百栄、柿田 恵美、
片岡 美喜

第二部 地域再生と教育ツーリズム

話題提供：

- ①「地域の価値を再発見、山の教育ツーリズム」
農家民泊(上勝町) 片山 初枝
- ②「地域の価値を再発見、海の教育ツーリズム」
漁家民泊(牟岐町)、南阿波よくばり体験インストラクター、
食育アドバイザー 石本 知恵子
- ③「地域の元気をつくる教育ツーリズムの可能性」
一般社団法人 そらの郷(三好市) 理事長 大柿 兼司

基調講演：

「教育ツーリズム／修学旅行実施校の感動とニーズ」
兵庫県尼崎市立成良中学校 教諭 中岡 禎雄

いどばた会議：

[コーディネーター]

徳島大学客員教授・環境とまちづくり代表 澤田 俊明

[パネリスト]

片山 初枝、石本 知恵子、大柿 兼司、中岡 禎雄、

徳島大学大学院 教授 上月 康則

閉会挨拶：徳島大学地域創生センター長 吉田 敦也

概要

今回のタウンフォーラムは、上勝町、那賀町の共催により開催し、県内外から約100人の参加があった。第一部では、地域創生センターの玉有朋子助教からの6次産業に従事する女性グループの紹介と各グループに関する情報提供後、高崎経済大学 片岡准教授による基調講演があり、「いどばた会議」では「6次産業には地域の食などに触れる機会が多い女性の目線が重要である」などの意見があった。

続いて行われた第2部では、修学旅行での民泊を受け入れた上勝町、牟岐町や一般社団法人そらの郷からの事例紹介の後、尼崎市立成良中学校 中岡教諭による基調講演があり、「いどばた会議」では都会の子どもたちに農作業や漁業の体験を通じて自然の尊さなどを学んでもらう「教育ツーリズム」が地域に与える影響などについて活発な意見交換が行われた。



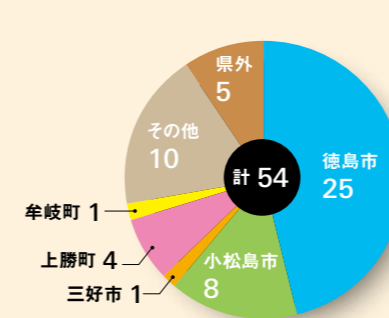
平成25年度 徳島大学・徳島地域連携協議会主催 タウンフォーラム

地域再生いどばた会議 -地域を救う「つながり」- アンケート集計結果

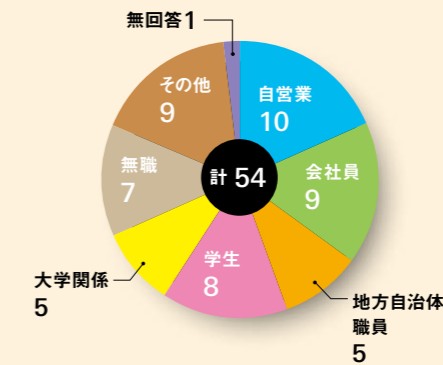
[アンケート実施日・場所]平成25年1月12日(土) 徳島大学地域・国際交流プラザ

[回答者数]54人(参加者: 約100人 / 回収率: 54%)

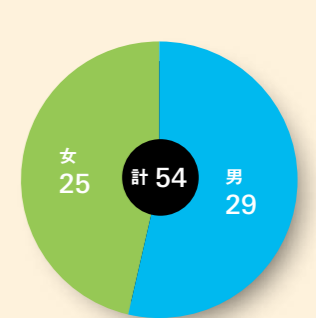
貴方の住所をお答え下さい。[単位:人]



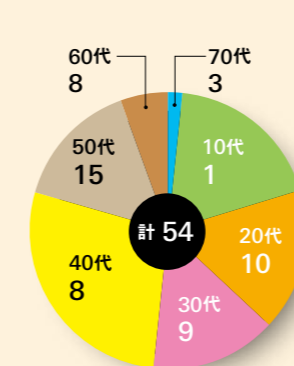
貴方の職業をお答え下さい。[単位:人]



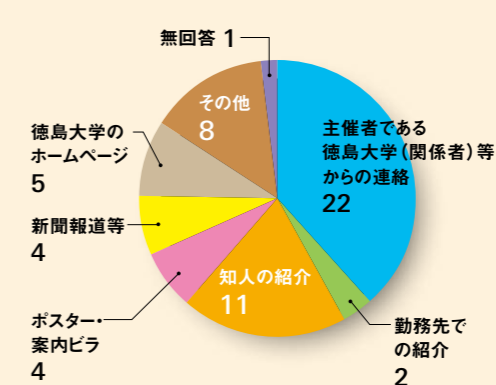
性別をお答え下さい。[単位:人]



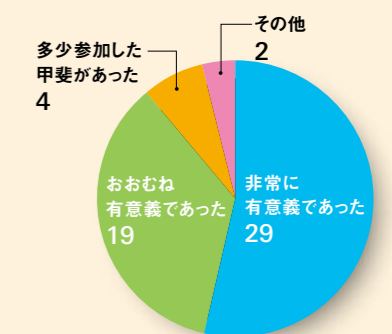
貴方の年齢をお答え下さい。[単位:人]



このタウンフォーラムの開催をどのようにお知りになりましたか(複数回答可) [単位:人]



タウンフォーラムの内容は有意義なものでしたか[単位:人]



タウンフォーラムの内容で関心を持たれた点をお書き下さい。

- 活動を始める時は情熱で出来るかもしれないが続けて後継者にゆずる時どうしたら良いかのヒントが見つかることができた。
- 後継者育成に関心が高いということ。女性の6次化ビジネスがビジネスとして成り立っているところかけっこうあるということ。
- 今回話された内容のすべてが素晴らしいと感じ、非常に有意義なものと思えた。徳島のいい所を再発見でき、このような活動はずっと続けていってほしいと思う。
- 農家民泊が徳島にこれだけいらっしゃることに感動。
- 持続可能な地域作り、人はお金ではなく、感動力が行動となる。
- 田舎の「あたりまえ」が地域資源となって、産業やにぎわいとなること、また県内でも様々な人が試行錯誤しながらがんばっていることに興味した。特に教育ツーリズムについては、私自身が学生の頃と比べてよい修学旅行のあり方だと思う。
- 女性の6次産業はビジネスとしてだけではなく地域のことを思っているという話が印象的でした。また、生徒を地域につれてくる先生の気持ちを知らることができて良かったです。
- 体験型教育ツーリズムへの協力される農家の数が多いのと、地域資源の活用という観点をしっかりと考えて取り組まれているのが感じさせられた。
- 修学旅行生が県内での民泊で大きな体験から変化する様子が良く判った。
- 6次産業の課題、(担い手や継承する事の難しさ)。収入と継続のバランスなどを考えると長く継承するためにはやはり収入にもつながっていくことが大切。

関心を持たれているテーマ・地域課題があればお書き下さい。

- コミュニティ活動→ビジネスへのステップアップについて。後継者問題について。
- 地域資源を生かして地域活性化。
- 中学生の修学旅行での取り組み。高齢者でも働ける環境作り。
- 地域の特色を活かしたまちづくり。
- 農業等1次産業メインの話題だったので工業等2次産業の地域課題についても知りたい。
- 伝統文化の発展、継承のためやるべきこと。

タウンフォーラムあるいは徳島大学に対して、要望やご意見があればお書き下さい。

- 情報提供・活動のサポート。
- 地域活性化に向けた助言、協力を引き続き進めてほしい。
- もっと多くの方に聴講してもらえたらよかったです。内容はとても面白かったので、ぜひ大きな会場での開催を検討していただきたい。また、徳島大学にはこれからも地域の活動への支援、協力をお願いいたします。
- 徳島という経済規模の小さな地域では国立大学の存在は大きいと思います。地域連携事業も含み、もっともっと徳島の实体经济に役立って欲しい。ベンチャーやコンサル、研究施設の積極的開放など。経済的意義にベクトルを!!
- フォーラムの内容をインターネット配信するとよいと思います。それだけの価値ある内容でした。